

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
	萩市	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成30年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3
総人口	47099	45302	45105	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	18240	18417	18216 -13.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	38.7%	40.6%	40.4% 89.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8562	8810	8224 -136.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	18.2%	19.4%	18.2% 0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	12231	10640	11253 61.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.0%	23.4%	24.9% 42.3%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道、集落排水施設については、総人口が減少傾向にあるため、処理人口が未処理人口よりも多く転出していると思われる。

合併浄化槽について、総人口が減少していることに加え、浄化槽の処理人口が現状に比べ減っている。また公共下水道の普及率が向上傾向にあることから、処理人口増加数よりも転出か、または下水への切り替えした人数が多かったと思われる。

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 7 年度まで

単独浄化槽や汲み取り式の家庭に対し啓発活動等を行い、公共下水道、集落排水施設への接続の促進に努める。また計画上、公共下水道や集落排水施設への接続ができない単独浄化槽や汲み取り式の家庭へ啓発活動等を行い、合併浄化槽への切り替えの促進に努める。

(都道府県知事の所見)

公共下水道又は集落排水施設への接続についての啓発、合併処理浄化槽への転換促進等の啓発・指導を引き続き実施し、効率的な整備を図ること。